

## 新「長野県史」編さん検討事業概要

文化財・生涯学習課

### 1 目的

現在の長野県史で未刊行の戦後現代史を中心に、県民に広く活用される新たな「長野県史」編さんについて具体的な検討を行う。

#### 県史編さんの意義

- 県の歴史の歩み、社会や県民生活の変遷を後世に伝承する
- 県民が歴史に学び、郷土愛・一体感・誇りを育み未来を考える
- 歴史資料の散逸・滅失を防ぎ現在・未来の県民利用に供する
- 歴史研究を担う地域人材の育成

### 2 現状と課題

#### (1) 現県史の概要

- ・刊行数：全 38 巻 70 冊（通史編 9、資料編 45、民俗編 14、方言編 1、年表 1）
- ・対象年代：原始・古代～近代（1945 年終戦まで）
- ・編さん期間：昭和 43 年（1968 年）～平成 4 年（1992 年）の 24 年間

#### (2) 課題

- ・戦後現代史の県史が未刊行
- ・近代歴史資料の散逸・滅失の危機、資料調査・収集の停滞
- ・生の証言者、地域の歴史研究者の減少

※ R3. 11 月県議会において現代史の県史編さん実施の検討等を求める請願採択

### 3 事業内容

県史編さん方針である長野県史編さん大綱を策定する。

策定する際には、未刊行の戦後現代史を中心に、県民に広く活用される新たな「長野県史」編さんの具体化に向けて、専門的な知見や幅広い県民意見を反映していく。そのために、歴史分野の専門家や各界の有識者、公募県民等に参画いただいて、編さんの基本的な方針に関して意見を聴く「新たな長野県史編さんに関する有識者懇談会」を開催する。

#### 〈参考〉県史編さんまでのスケジュール（イメージ）

R5年度	R6年度	R7年度	R 8 年度～
検討準備段階			実行段階
<b>【有識者懇談会】</b> ○編さん大綱（案）検討 目的、基本方針、対象年代、構成（編・巻数） 編さん期間、普及活用方法、組織、等  歴史資料調査・収集（歴史館）	編さん大綱	<b>【準備組織】</b> ○編さん計画検討 ○資料調査、収集  編さん計画	<b>【編さん実施組織】</b> ● <b>県史編さん開始</b> ○執筆、編集 ○資料調査、収集